

予告なし緊急時訓練

日時	令和3年6月29日(火)
対象者	全学年
具体的取組	突発的な非常時に、児童が自ら安全を確保できる実践力をつける。また、児童自ら判断し行動する力を身につけるために、事前に詳しい日時を知らせずに地震の避難訓練を実施する。 教員がいない状況、運動場や廊下などで地震が起きた時にどのような避難行動をとればよいか、考えさせるために、休み時間に実施する。
児童の様子	緊急地震速報が流れたら、近くの机の下に潜る児童が多かった。 廊下にいた低学年の児童の中には、どうしていいか分からず、立ったままの児童もいた。 落ち着いて行動できた児童が多かった。
成果	これまでの訓練を受けて、机の下に潜って頭を守る行動をとることができた。また、運動場にいた児童は、その場で体を丸める格好(ダンゴムシのポーズ)をとることができた。
課題	プールサイドまでは放送が届かなかった。本当に災害が起こったときに、どうするべきか考えておく必要がある。 児童たちは、遠くても自分の机の下に入ろうとするので、近くにあるもので良いこと、机がない場合にどうするかを、今後指導していく必要がある。
児童の感想	・急に音がしたので、びっくりした。 ・自分の机に他の人が座っていたので、どこに行けばいいのかわからなかった。 ・ドキドキしたけど、訓練のことを思い出してできた。
作成資料	○緊急時訓練計画
写真	   